

感染症情報 3月9日～15日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	498例(堺市	14例)
②溶連菌感染症	371例(堺市	43例)
③咽頭結膜熱	53例(堺市	0例)
④水痘	51例(堺市	2例)
⑤RSウイルス感染症	46例(堺市	1例)

府下インフルエンザ定点300医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 759例(堺市 69例)

が報告された。感染症報告数は前週比15.0%減の1,129件であった。

感染性胃腸炎は府下で前週と比較して16%減、堺市では46%減であった。溶連菌感染症は府下で14%減、堺市で58例→43例の26%減で、定点当たり3.05→2.26であった。咽頭結膜熱が府下で10%減、堺市で4例→0例であった。水痘が府下で12%減、堺市で前週、今回とも2例であった。RSウイルス感染症は府下で41%減、堺市で4例→1例であった。

インフルエンザは府下で65%減の759例で、定点あたりは7.32→2.53となり、堺市で69例は74%減、定点あたりは9.00→2.38であった。大阪府全ブロックで注意報レベルである10を下回った。

指定感染症：大阪府下の新型コロナウイルス感染症は3月9日から15日までに51例増えて、累計106例となった(1月26日から3月17日まで延べ1,910人を検査して112人陽性(単純陽性率5.9%))。堺市では3月9日から15日に65検査中、2例が陽性であった。1例は堺市民ではない。もう1例は新型コロナウイルス陽性者の接触歴あり。

風疹の報告はなかったが、麻疹が大阪市で今年1例目の報告があった。